



「さっぽろっ子環境ウィーク」における SDGs アクション

宣 言

「落とし物を減らそう!」

学校の中で環境のためにできないか考えながら歩いてみると、学校の落とし物コーナーが物で溢れかえっていることに気がつきました。再利用できる物はしますが、その他は処分されるのではないかと考え、まずはそれぞれの学級で自分の持ち物を大事にすること、そして落とし物を減らす取り組みを始めてみようということになりました。

SDGs アクション

「落とし物袋を毎日空にしよう」

まずは自分の持ち物には記名をすることを呼びかけ、自分の持ち物を大事にしてほしいことを伝えました。そして、以下の2つの事に取り組みます。

◎封筒2枚、記入表の配付

教室での「落とし物を入れる袋」と「落とし物を保管する袋」をそれぞれの学級に配付しました。記名されていない落とし物はまずは「落とし物を入れる袋」に入れます。そして帰りの会などで中身を確認し、持ち主がわかればその落とし物は返されます。すべての落とし物の持ち主がわかり、袋が空になると、表に「0」と記入します。しかし、持ち主がわからない落とし物は「落とし物を保管する袋」に入れられ、その数を表に書き込みます。このように落とし物があっても、持ち主が見つかるように学級で協力します。

◎各学級のがんばりを伝える放送

活動後、すべての学級の表を回収します。それぞれの学級の落とし物の数を確認し、がんばりを全校放送でお知らせします。特に落とし物の数が「0」の学級や数の少ない学級を称え、これからも自分の持ち物を大事にしてほしいことを伝えます。

成 果

毎日、落とし物が「0」の学級が6つありました。表を「0」にしようという思いからか、自分の持ち物を大事にしようとする気持ちが芽生えたり、落とし物が発表された際、自分の物がないか注目している姿が見られたりしました。今回の取り組みで「自分の持ち物を大事にする」という意識は高まったのではないかと考えます。

次年度の取組に向けて

これからも「物を大事にする心」を育てていく必要があります。3Rの観点からも自分の持ち物を大事にし、ゴミを減らそうとお互いに協力したり、声を掛け合ったりできるような取り組みを考えていきます。

12 つくる責任
つかう責任

